

News Release

2023 年 2 月 24 日

5G 遠隔操作による自動運転 EV トラック (V-CAL) プロジェクトへの参加継続

2023 年 1 月 26 日、英国運輸省とビジネス・エネルギー・産業戦略省（以下、BEIS）の共同政策部門である CCAV（コネクテッド&自動運転自動車センター）と BEIS が主催した「自動運転技術を活用した持続可能な商業サービスコンペティション受賞プロジェクト発表会」が、英国サンダーランド市の VANTEC EUROPE LIMITED（以下、VEU）敷地内にて開催されました。

本発表会は、政府・産業界が支援する 7 つのプロジェクトの内容について発表する目的で企画されたものです。7 つのプロジェクトには VEU が参画する最新のローカル 5G ネットワークと遠隔操作を併用した自動運転 EV トラックプロジェクト(V-CAL プロジェクト※)も含まれます。

※V-CAL (Vehicle Connected Automated Logistics) プロジェクトは、脱炭素と自動運転による安全運行の実現を目指し、トレーラーをけん引した EV トラックの無人自動走行を遠隔操縦者が監視して貨物輸送を行う実証実験で、NEAA(英国北東自動車連盟)が主催する産官学連携組織にて行われています。

発表会当日は、VEU と Nissan Motor Manufacturing (UK) Ltd.（以下、NMUK）間の専用道路(約 0.5km)にて、自動運転と遠隔操作を組み合わせた輸送デモンストレーションが実施されました。

会場には CCAV の副所長である Michael Talbot 氏をはじめ、7 つのプロジェクトの代表者、メディア関係者など多くの方が出席し、各プロジェクトについてのプレゼンテーションが行われた他、敷地内に設置された掲示物やそれぞれのプロジェクト車両の見学が行われました。VEU の 40 トントレーラーの迫力や最新技術にも驚きの声が上がリ、車両と記念撮影をする方も多くいらっしゃいました。

V-CAL プロジェクトは、自動運転トラックの公道利用に向けた大きなステップとなると期待されております。今後 2 年間の目標としては、一度に複数台の自動運転 EV トラックを、遠隔操作の操縦者 1 名が安全に運用することであり、今後の継続支援は、より大規模な自律型サプライチェーンの実現に向けた重要な一歩となります。常に安全性を最優先に考慮し、トラックドライバーと協力しながら、運転業務を補完する様々な方法を検討するとともに、遠隔操作運転へのリスキングの機会をドライバーへ提供することで、荷主が安心して任せられる、物流ソリューションとなることが期待されています。

当社グループは、今後も多様なステークホルダーとの研究・協業を通じ、経営理念である「物流を科学し、私たちだけが提供できる付加価値を創造してグローバルに成長し続けます」を実現するとともに、豊かな社会づくりに貢献してまいります。

<イベント概要>

開催日時	2023 年 1 月 26 日
場所	3 Infiniti Drive, Hillthorn Business Park, Washington, Tyne and Wear, NE37 3HG, The United Kingdom
イベント名称	CCAV Deployment Competition Announcement
主催	BEIS、CCAV
協賛	NEAA、VEU

<イベントの様子>

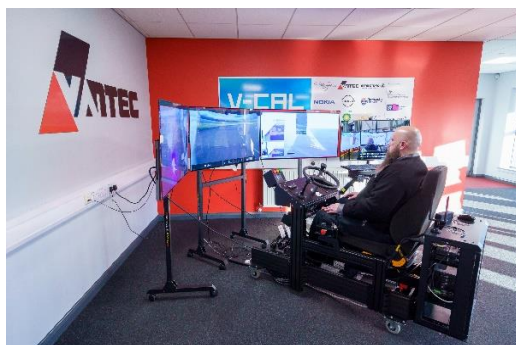


(CCAV 副所長 Michael Talbot 氏 (左))

(VEU 社長 Martin Kendall 氏 (右))



(来場者)



(遠隔操作コックピットの様子)



(トレーラーをけん引する EV トラクタ)

物流は新領域へ
LOGISTEED

【本件に関するお問い合わせ先】

(株) バンテック 総務部 TEL: 045-306-5230